

の 広報 ぼりぼり

8/1

1996

No.550



6月17日(月)～7月17日(水)にかけて、登別小学校で学級対抗相撲の春場所が行われました。

「みあって、みあって、はっけよい」の先生の掛け声のもと、子どもたちの真剣勝負が繰り広げられました。

主な内容

- ・登別市ファミリーサポートセンターが開設されます
- ・下水道のご案内
- ・市民レポート「登別市の花いっぱい運動について」
リポーター 磯野みゆきさん
- ・登別市の国際交流
- ・きらり 登別デンマーク協会
会長 上田俊朗さん

子育てをしているみなさんを支援するため 8月1日「登別市ファミリーサポートセンター」を 開設します



今、働きながら子育てをしている方が多くなり、保育所の送り迎えや急な残業のときなど、育児の手助けをしてもらいたいと希望する方が増えています。

市は、仕事と育児を両立し、安心して働くことができるように、育児の援助を受けたい方（依頼会員）と育児の援助をしたい方（提供会員）から作る会員組織「登別市ファミリーサポートセンター」を設立します。

8月1日、しんた21（総合福祉センター）内に事務局を開設し、会員の募集を始めます。

多くのおみなさんが会員となり、利用していただけるようQ&Aで具体的にお知らせします。

Q 登別市ファミリーサポートセンターとは、どのようなところですか？

A ファミリーサポートセンターは、建物の名称ではなく、育児の援助を受けたい方（依頼会員）と、育児の援助をしたい方（提供会員）による、地域における相互援助活動組織のことをいいます。

Q ファミリーサポートセンターはどのように運営されるのですか？

A ファミリーサポートセンターは、登別市が設立し、市からの委託により登別市社会福祉協議会が運営を行います。

事務局に会員の募集や援助活動の調整を行うアドバイザー3名を置き、小学校区ごとに定められた地域グループにはサブ・リーダーを置いて、会員相互の紹介などグループ会員の連絡調整を行います。

Q だれでも会員になれますか？

A 育児に関する専門的な資格などは必要ありません。

市内に居住し、育児の援助を受けたい、または育児の援助をしたいと考えている方なら、どなたでも会員になることができます。

市外に居住している方も、勤務先が市内の場合、依頼会員になることができます。

なお、会員になった場合、援助活動に必要な知識を得るため、センターの行う講習を受講します。また、会員はお互いのプライバシーを守るなど会則に定められた事項を守り、活動してください。

Q 援助の内容はどのようなものですか？

A これは、地域のボランティア活動として行われるもので、専門的保育を行うものではありません。

援助の内容は、軽易で短期的、補助的なもので、おもな内容は次のとおりです。

- 保育施設の保育時間外に子どもを預かること
- 保育施設までの送迎を行うこと
- 学校の放課後や児童館終了後、子どもを預かること
- 子どもが軽度の病気の時、臨時的・突発的に子どもを預かること

○ その他、依頼会員の仕事と育児の両立のために必要な援助



Q 援助を受けるとき
の料金は?

A 依頼会員、提供会員ともに
入会金はかかりません。

援助を受ける場合、依頼会員は、
1時間につき500円(休日などは600
円)の報酬のほか、交通費やおや
つ代などの実費を提供会員に直接
支払います。

Q 援助を受けられる
子どもの範囲は?

A 小学校児童(小学6年生)
までです。

Q 子どもはどこで預
かるのですか?また
宿泊はよいので
すか?

A 原則として提供会員の家庭
で預かり、宿泊は伴いません。
ただし、子どもが病気の場
合などは、依頼会員の家庭で預かる
こともできます。

Q 援助活動をしてい
るときに事故がお
きた場合の補償は
?

A すべての会員は、事故に備
えファミリーサポートセンター
補償保険に加入します。

加入保険料は市が負担します。

Q 会員になった場合、
援助の依頼や提供
を必ずしなければ
ならないのですか
?

A これは、地域のボランティ
ア活動として行われるもので
す。

援助の依頼や提供は、条件があつ
たときに行えばよいこととなつて
いますので、気軽に入会してくだ
さい。

Q 援助活動はいつか
ら行いますか?

A 8月1日から会員の募集を
行いますので、実際の援助活
動については、ある程度会員が集
まった12月ころからを予定してい
ます。

Q 援助を受けたいと
きは、どこに申し
込むのですか?

A ファミリーサポートセンター
事務局のアドバイザーか地域
グループのサブ・リーダーへ電話
で依頼してください。援助の内容
にあった提供会員に連絡します。



Q 会員になるために
は?

A 提供会員、依頼会員とも8
月1日(木)から募集を行い
ますので、随時、ファミリーサポ
ートセンター事務局まで連絡くだ
さい。

くわしい内容などについても、
気軽にお問い合わせください。



▼申し込み・
問い合わせ

登別市ファミリー
サポートセンター
事務局

(しんた21内

☎(85)0033)

みなさんの声

聞かせてください!



三浦由比子さん
(若山町)

困ったとき
にちょっと頼めるところ
があることは、安心です
ね。地域全体で子どもを
育てる制度として、セン
ターに期待します。



滝川 芳子さん
(新生町)

核家族が増
えているので、いい制度
だと思っています。子育ても
終わりましたので、でき
ることがあれば、お手伝
いしたいですね。

アドバイザーからひびくと

子育てをすることは、本当に大
変なことです。今まで、働きなが
ら子育てをしてきた方は、お子さ
んの急な病気のときなど、とても
困っていたと思います。

ファミリーサポートセンターが
できることで、子育ての不安を解
消し、安心して働ける環境づくり
ができれば...と思っています。

それには、子育てを支援する提
供会員がたくさん必要です。ボラ
ンティアで子育てを支援したいと
思っている方は、気軽にお電話く
ださい。

下水道は海や川をきれいにします

水洗化のご案内

私たちが生活を営むうえで、水はいろいろな形で使われています。台所・風呂・洗濯・水洗トイレなど日常生活になくてはなりません。

このように役に立った水も、そのまま汚水として川や海に捨てられると、悪臭を放つたりハエや蚊などの発生源となり、生活環境や自然環境を悪くします。

下水道は、こうした汚水を集めて処理し、きれいな水にして自然界にもどすために大きな役割を果たしています。

登別市は、平成2年10月幌別地区を中心に供用を開始し、今年で

6年目を迎えました。

この間、みなさんのご協力で下水道事業も順調に進み、平成7年10月から若山・富岸・新生・栄・若草地区、280【】の事業認可区域を拡大し、図のとおり整備を行う予定です。

今回は、現在の整備状況と受益者負担金・下水道使用料・水洗便所改造等融資あっせん制度・水洗便所改造等補助金制度・排水設備工事についてお知らせします。

▼下水道に関する問い合わせ
下水道課 (☎859052)

◎整備状況

〔普及率〕

下水道を利用できる人	= 普及率
総人口	
18,220人	= 32.0%
56,857人	

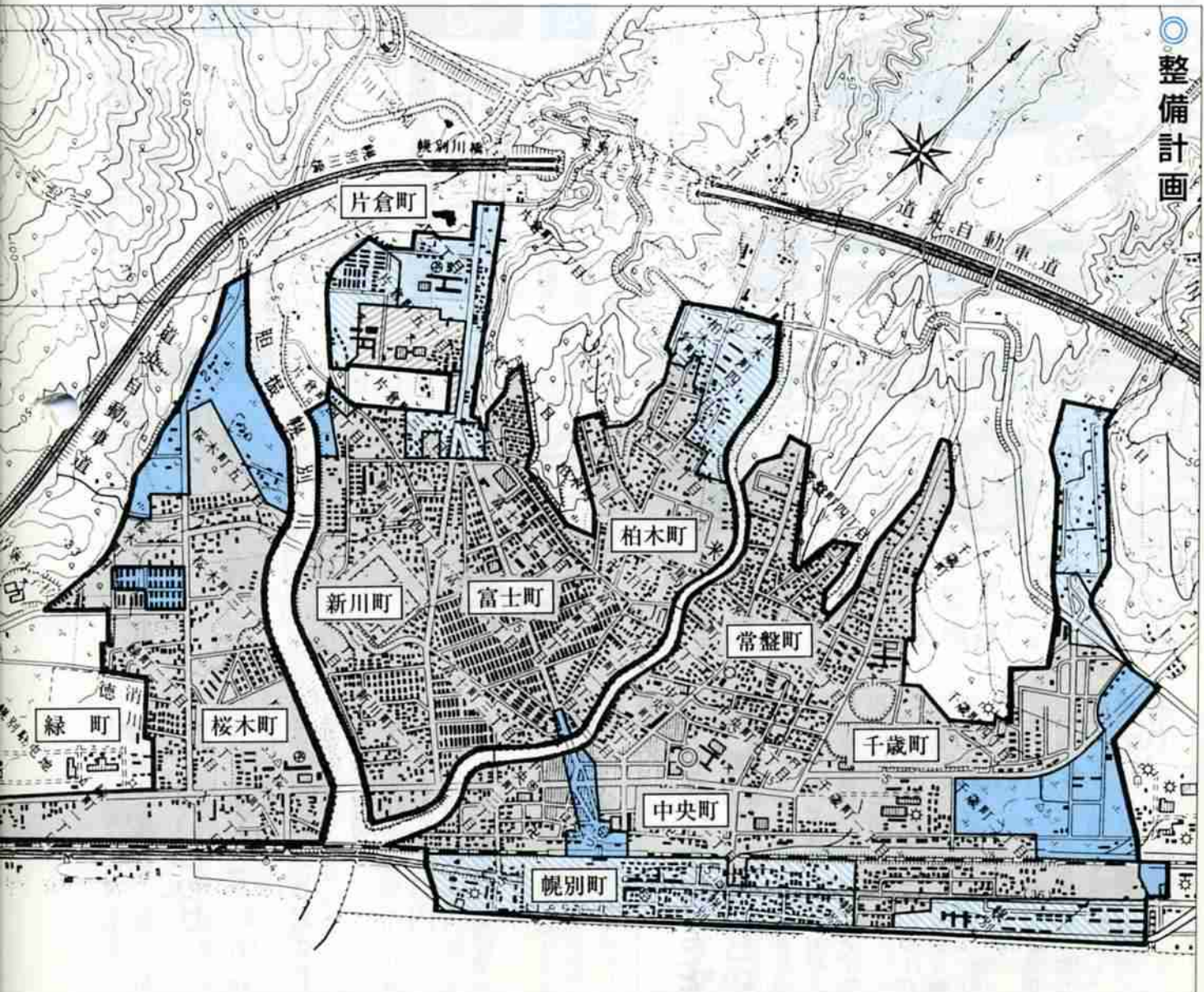
(平成8年3月末現在、下水道を利用できるのは全市民の32%です)

〔水洗化率〕

下水道を利用している人	= 水洗化率
下水道を利用できる人	
11,681人	= 64.1%
18,200人	

(平成8年3月末現在、下水道を利用できる人のうち、実際に下水道を利用しているのは64%です)

◎整備計画



◎宅地内の排水設備平均工事費

※数値は平成7年4月から平成8年3月末までの225件を対象として平均工事費用を算出していますが、単価の変動、配管延長、水洗化の内容など、状況により工事費用に差があります。

	(単位：円)			
トイレなどの改造例	排水工事費	水洗化工事費	総工事費	平均配管延長
浄化槽設置者改造 (一般住宅で便室改造・給水工事が無いもの)	226,000	23,000	249,000	18.3m
汲取便槽設置者改造 (一般住宅で便室改造・給水工事があるもの)	227,000	339,000	566,000	17.2m

◎私道の汚水管の布設について

市が行っている下水道管の工事は公道に埋設してありますが、住宅が公道に面していない方(私道を利用している方)については、条件が合えば、市が布設することもできますので、くわしくは下水道課までご相談ください。

◎受益者負担金とは

道路や公園などの公共施設は、市民のだれもが利用できます。しかし、下水道を使用できるのは下水道が整備された地区の方だけに限られます。

もし、下水道の建設を税金だけでまかなおうとすると、下水道の整備されていない地区の市民との間に負担の不公平が生ずることになります。

そこで、下水道の整備された排水区域内にある土地の所有者または権利者の方に建設費の一部を負担していただくのが受益者負担金制度です。

受益者負担金の額・支払い方法

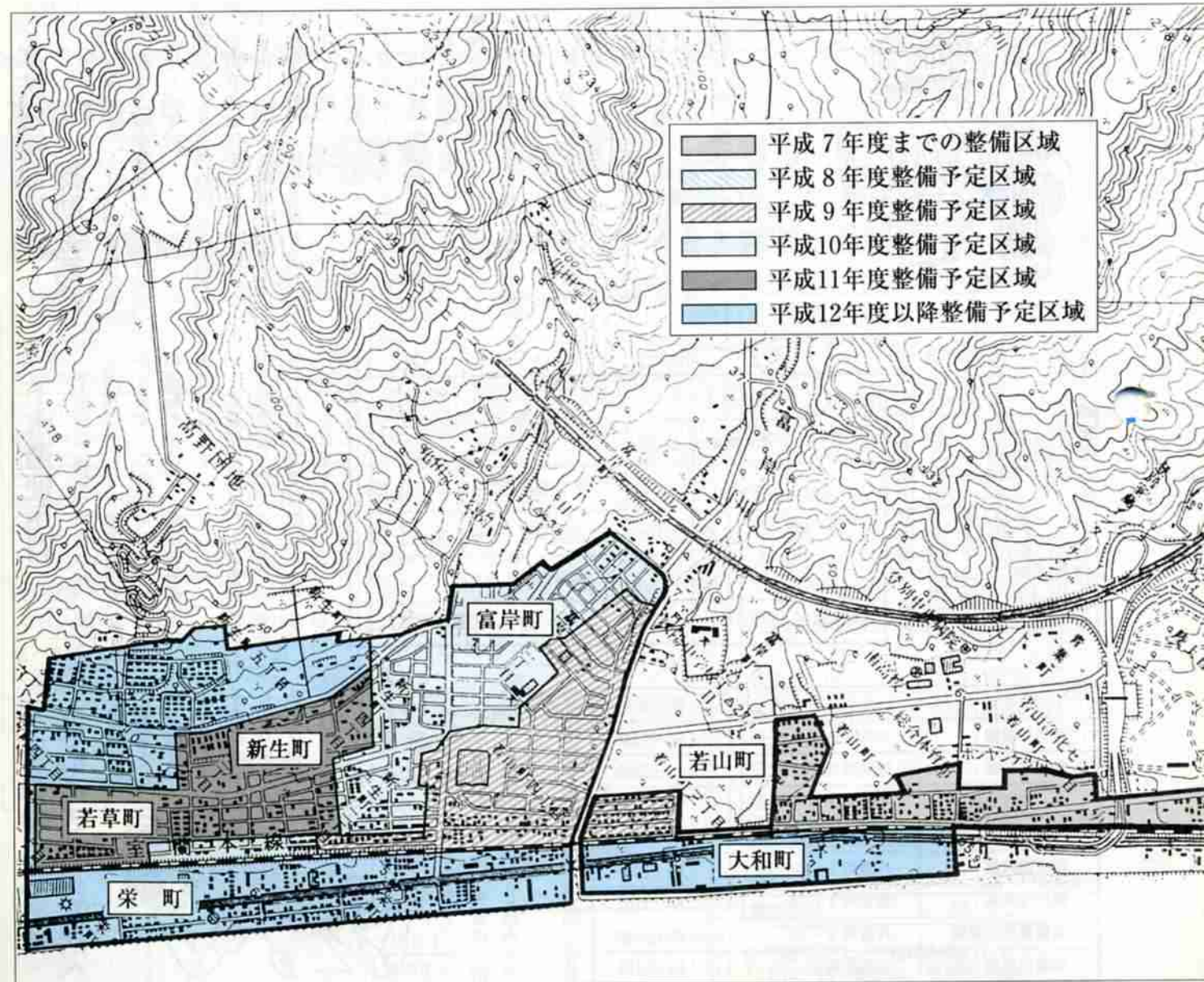
受益者負担金は、土地の面積に応じて金額が決まります。

現在、1平方メートルあたりの負担額は525円となっています。

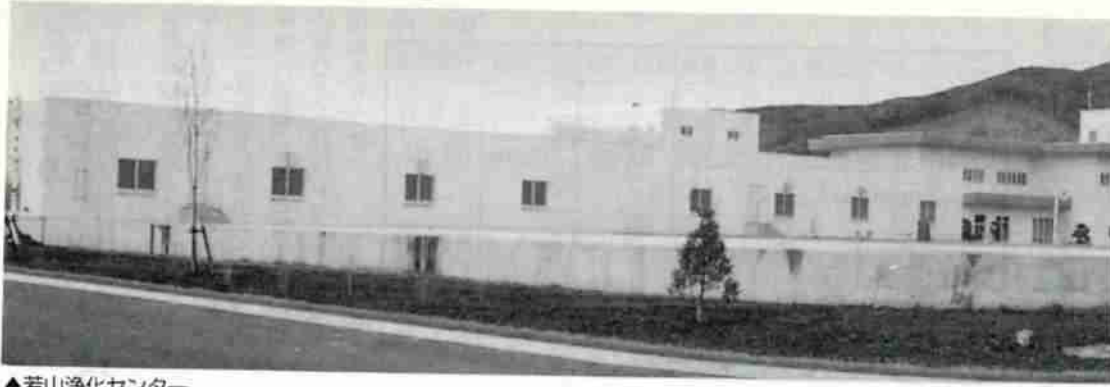
「例」100坪(330・57平方メートル)の土地を所有している場合

330・57㎡×525円＝17万3千549円
この受益者負担金は、5年間(年4期)に分けて納めます。

区分	年度	初年度	次年度以降(1年毎)
敷面積17万3千549円		3万4千749円	3万4千700円
1期 7月末日納期		8千949円	8千900円
2期 10月末日納期		8千600円	8千600円
3期 12月28日納期		8千600円	8千600円
4期 2月末日納期		8千600円	8千600円



水洗化のご案内



▲若山浄化センター

- ▼取扱い金融機関
 - 室蘭信用金庫本支店
 - 室蘭商工信用組合幌別支店
 - 北海道銀行登別支店
 - 北海道労働金庫室蘭東支店
- ※排水設備等工事確認申請と同時に指定店を通じて申し込みください。

みなさんに一日も早く、トイレの水洗化と排水設備を設置していただくため、融資あっせん制度や補助金制度があります。
▼問い合わせ 下水道課 (☎9052)

水洗便所改造等 融資あっせん制度

- ▼対象 下水道処理区域内の個人が所有する住宅（新築を除く）または、その所有者の同意を得た使用者で、次の条件を満たしている方
 - ①償還能力があること
 - ②市民税・固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと
 - ③市内居住で①、②に該当する連帯保証人がいること
- ▼融資あっせん限度額
 - ①水洗便所改造工事（トイレを水洗に改造の場合）便所1基につき34万円
 - ②排水設備設置工事（屋外排水設備の場合、浄化槽設置者の場合）1件につき14万円
 - ③①+②のとき48万円
- ▼返済期間
 - ①水洗便所改造工事 34カ月以内
 - ②排水設備設置工事 14カ月以内
 - ③①+②のとき 40カ月以内
- ▼利子 市が全額負担します。ただし、処理開始の日から3年経過後のあっせんについては、2分の1を利用者が負担します

水洗便所改造等 補助金制度

- 自己資金で、トイレの水洗化や排水設備工事を行った方に補助金を交付します。
- ▼対象 下水道処理区域内の個人が所有する住宅（新築を除く）または、その所有者の同意を得た使用者で、次の条件を満たしている方
 - ①処理開始の日から1年以内に工事が完了していること
 - ②市民税・固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと
- ▼補助金額
 - ①水洗便所改造と排水設備設置工事 3万3千円
 - ②排水設備設置工事（浄化槽設置者）1万円
- ※排水設備等工事確認申請と同時に指定店を通じて申し込みください。補助金は、工事完了後申請者の銀行口座に振り込みます。



下水道使用料

下水道の施設が整備され、流した汚水について下水道使用料がかかります。この使用料は、処理場の運転や補修など維持管理費用にあてられます。
下水道使用量は、水道使用量を汚水排出量として計算され、水道料と合計して隔月徴収（2カ月分合計）されます。

(単位：円)

用途	基本料（1カ月）		超過金額（1㎡につき）	
	基本水量	金額		
一般用	8㎡まで	1,184	8㎡を超え20㎡まで	153
			20㎡を超え50㎡まで	158
			50㎡を超えるもの	163
公衆浴場用	100㎡まで	2,500	100㎡を超えるもの	25

「例」水道水20㎡を使用した場合の1カ月あたりの下水道使用料

- 基本料 8㎡ 1,184円
- 超過料金 12㎡×153円
- 小計 1,836円
- 合計（消費税込み） 3,200円

工事の申し込みは 安心できる指定店へ

排水設備工事をする指定店は、基準に合った設備をつくるために必要な知識や技術を習得して、安心して工事をまかせることができます。排水設備工事の施工業者は、指定店より選び、直接申し込みください。



工事指定店	所在地	電話番号
株荒川設備	栄町3-18-5	86-7138
磯松建設株	幌別町5-25-7	85-2338
オール設備株	中央町1-4-10	85-2169
布管工設備	新生町4-6-6	86-6166
株合田設備	片倉町2-24-26	85-5029
興和工業株	新栄町1-12	88-1101
高橋衛生工業株	片倉町3-10	85-5585
株藤田設備工業	登別東町4-31-7	83-3154

平成9年度登別市職員を募集します

▶採用職種・採用予定人員

職 種	試 験 区 分	採用予定人員
事 務 司	大学・短大・高校卒業程度	6名程度
	大学・短大卒業程度	1名程度
技 術 保 母	大学・短大卒業程度	1名程度
	短大卒業程度	2名程度
	短大卒業程度	1名程度
寮 母	短大・高校卒業程度	1名程度
寮 父	短大・高校卒業程度	1名程度
消 防	大学・短大・高校卒業程度	2名程度

▶受験資格

職 種	試験区分	要 件
行 政 司 書 保 母	大学卒業程度	大学を卒業または卒業見込みで、昭和41年4月2日以降に生まれた方
	短大卒業程度	短大もしくは同程度の専門学校を卒業または卒業見込みで、昭和46年4月2日以降に生まれた方
	高校卒業程度	高校を卒業または卒業見込みで、昭和48年4月2日以降に生まれた方
保 健 婦 (士)	短大卒業程度	保健婦(士)資格を有している、または平成8年度中に受験し資格取得見込みで、昭和46年4月2日以降に生まれた方
	寮 母 寮 父	短大もしくは同程度の専門学校を卒業または卒業見込みで、昭和41年4月2日以降に生まれた方
消 防	高校卒業程度	高校を卒業または卒業見込みで、昭和41年4月2日以降に生まれた方
	大学卒業程度	大学を卒業または卒業見込みで、昭和45年4月2日以降に生まれた方
	短大卒業程度	短大もしくは同程度の専門学校を卒業または卒業見込みで、昭和45年4月2日以降に生まれた方
	高校卒業程度	高校を卒業または卒業見込みで、昭和45年4月2日以降に生まれた方

▶受験日時・場所

区 分	日 時	場 所
第1次試験	9月22日(日) 10:00~	鷺別公民館 (鷺別町3-3-4 ☎8823)
第2次試験	10月下旬予定	別途通知します

▶申し込み 所定の受験申込書に必要事項を記入、書類添付のうえ、職員課に申し込みください。受験申込書などは職員課と各支所にあります。
※受験申込書などを郵送で請求する場合、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先を記入した返信用封筒(角2サイズ)と130円の切手を必ず同封してください。

▶申込期間 8月1日(木)から8月20日(火)まで
9:00~17:30(土・日曜日除く。当日消印有効)

※司書および保母については、それぞれの資格を有している、または平成8年度中に資格取得見込みの方。

▶申し込み・問い合わせ 職員課(本庁3階)
(☎1132 内線326・327)

富浦墓地行き《8月13日(火)~8月16日(金)》

無料墓参バスを運行します!

▶問い合わせ 市民課(☎1855)

上鷺別・鷺別地区発

若草・幌別地区発

幌別・登別地区発 (13日午前の便は2台運行)

《行き》	(13日~16日)(13日のみ)
トヨタ上鷺別寮 発	10:00 13:00
松木商店前	10:02 13:02
鷺別中学校前バス停	10:06 13:06
鷺別小学校前バス停	10:07 13:07
東鷺別バス停	10:08 13:08
はまなす団地バス停	10:09 13:09
帝国酸素バス停	10:11 13:11
西富岸バス停	10:13 13:13
富岸バス停	10:15 13:15
開発局前バス停	10:16 13:16
あかしや団地バス停	10:18 13:18
幌別本町バス停	10:23 13:23
市役所入口バス停	10:24 13:24
富浦墓地 着	10:30 13:30

《行き》	(13日~16日)(13日のみ)
上鷺別入口バス停 発	10:00 13:00
旭ヶ丘団地バス停	10:01 13:01
若草入口バス停	10:02 13:02
若草中央バス停	10:03 13:03
緑ヶ丘団地バス停	10:04 13:04
千代の台団地バス停	10:05 13:05
新生町1丁目バス停	10:06 13:06
新生町2丁目バス停	10:07 13:07
富岸小学校バス停	10:08 13:08
道南バス若山営業所バス停	10:09 13:09
総合体育館前バス停	10:10 13:10
桜木団地バス停	10:13 13:13
緑町2丁目バス停	10:14 13:14
登別大谷高校前バス停	10:15 13:15
阪井商店前	10:17 13:17
みゆき旅館前	10:20 13:20
旧NTT登別営業所	10:21 13:21
市民プールバス停	10:24 13:24
千歳4丁目バス停	10:25 13:25
富浦墓地 着	10:35 13:35

《行き》	(13日~16日)(13日のみ)
登別高校バス停 発	10:00 13:00
幌別西小学校バス停	10:01 13:01
市民会館バス停	10:02 13:02
ホームストア幌別店バス停	10:03 13:03
社宅十字街バス停	10:04 13:04
中央町5丁目バス停	10:05 13:05
幌別小学校バス停	10:06 13:06
幌別東小学校バス停	10:08 13:08
ソーダー工場前バス停	10:09 13:09
三洋工業前バス停	10:10 13:10
幸町3丁目バス停	10:12 13:12
すすらん団地バス停	10:13 13:13
富浦バス停	10:15 13:15
登別駅前バス停	10:20 13:20
登別バス停	10:21 13:21
登別中学校前バス停	10:22 13:22
登別小学校前バス停	10:23 13:23
富浦墓地 着	10:25 13:25

《帰り》	(13日~16日)(13日のみ)
富浦墓地 発	11:30 14:30

《帰り》	(13日~16日)(13日のみ)
富浦墓地 発	11:35 14:35

《帰り》	(13日~16日)(13日のみ)
富浦墓地 発	11:25 14:25

※午後の便は、13日のみ運行します。
(14・15・16日は、午前のみ運行)

◆供物などはお持ち帰りください!◆
墓前の供物などは、供えたままにしておくと、カラスやキツネなどが食い荒らし、墓石やお墓の周りを汚しますので、必ずお持ち帰りください。

「登別市の花いっぱい運動について」



市民リポーター
磯野 みゆき さん
千歳町・35才

▲登別駅前通りのインパチエンスの花の植え込み作業

毎日忙しい日々が続く、本当にストレスの多い時代です。私はもとも花が好きで、今はハーブコーディネータ(注1)としてハーブを通じ、花とも関わっています。

最近、ストレスを解消する手段として注目されてきた方法があります。

それは、リラククス効果のあるハーブティーを飲んだり、自分の好きな香りをおくことによつて精

神的に落ちついたり、きれいな花や緑を見ることによつて優しい気持ちになり、ストレスを解消するというもので、明日の活力にもつながります。

好きな花を見たり香りをかくことは、広い意味でいうと、これも一種のアロマセラピー(注2)なんですよね。

それで今回、花に注目して、登別市内の「花いっぱい運動」について調べてみようと思いました。

《市内を花で飾り

住みよい街に》

登別市民憲章推進協議会

市民団体の一つである登別市民憲章推進協議会は、活動の中で平成元年から「花いっぱい運動」に本格的に取り組んでいます。

毎年、町内会などの団体に花の苗をあっせんしたり、公共施設などに花の苗の配布を行っています。今年も6月15日に、ベコニア、サルビア、マリーゴールドの3種類の花の苗が、市内の20団体と、小・中学校などの公共施設に配布されました。

これは、会の予算などでまかなわれていますが、このほかに緑の羽根で知られている「緑の募金」の収益の一部も、この運動の資金になるそうです。

この募金は、毎年4月20日から5月31日まで行われています。

まだまだ花を購入する資金が不足しているそうなので、登別市を花でいっぱいにするためにも、みなさんもぜひ緑の募金に協力をお願いします。

「花いっぱい運動」の目的について、会長の篠原さんにお話を聞いたところ、「全市を花で飾り、ごみをなくして住みよい街づくりをしたい」ということでした。

配布した花の苗は、それぞれの団体が花壇などに植え込み、手入

れをして、きれいに育てています。8月には、花いっぱいの成果を視察し、花壇のコンクールが開かれるそうです。

しかし、せっかく花を配布しても後の手入れが悪く枯らしてしまうところもあるそうで、篠原さんは、それがとても残念だと話していました。

また、登別市民憲章推進協議会では、花いっぱいを目指すため、研修の一つとして花いっぱい運動の先進地視察なども行い、今年は蘭越町へ見学に行くそうです。

花いっぱい運動の先進地には、フラワーマスター(注3)という、専門知識のある人がいて、花についての講習会などを開き、実践者として活躍しています。

近くでは、室蘭市と伊達市にいるそうですが、残念なことに登別市にはまだフラワーマスターの資格を持った人がいません。

篠原さんは、「いずれフラワーマスターの資格を取り、登別の花いっぱい運動に役立てたい」とも、話してくださいました。

できれば、若い方の中からもたくさんの方のフラワーマスターが誕生して、篠原さんと力を合わせて活動し、フラワーデザインの発想が広がると、すてきなことだと思います。

花壇だけではなく、壁面の空間なども大いに活用して花を飾れるようになったら、とてもすてきですよ。

花いっぱいの輪が全市的に広がるように、篠原さんをはじめ会の方々にがんばっていただきたいと思いました。

《地域を花できれいに》

美園町会

次に、実際に花壇を作り花を育て、花いっぱい運動を実践している団体から話を聞こうと思いましたが。

さっそく、昨年の花いっぱい運動の花壇コンクールで最優秀に選ばれた美園町会に取材に伺い、美化部長の近藤さんと副部長の佐々木さんからお話を聞きました。花美化部のメンバーは14名で、花



▲花の植え込みをする市民憲章推進協議会のみなさん





▲美園町会美化部がきれいに植え込みをした花壇

の植え付けから水やりなど、2カ所の花壇の管理をしています。

ひまわり園跡の花壇は平成6年から整備し、東橋沿いの花壇は今年の5月から始めたそうです。

花壇を作るきっかけは、「美園町会は川沿いなどに不法駐車やごみの不法投棄が多く、衛生的にも安全性からごみなどを一掃しようということで、花によって町内会を美化し、きれいな街づくりしよう」との願いから始めたそうです。

2カ所の花壇には、合わせて732株の花がきれいに植えてありました。花壇の整備で一番苦労していることは水やりだそうです。また、2カ所の花壇は離れているため移動するのも大変ですが、どちらも手入れが行き届き、花たちがいき

いきとじていました。

近藤さんは、「一人でも多くの人水あげたり雑草を抜くなど、花に対するいたわりの気持ちを持つことが願いです」と、しみじみと話してくださいました。

私もそのとおりだと共感し、そうすることにより地域のコミュニケーションもはかれるのに違いないと思いました。

最後に「グリアの咲く頃になると、花壇が一番華やいで美しくなるので、ぜひ見に来てください」と、笑顔で話してくださいました。

《花いっぱい》

観光客を迎えたい

登別駅前通りで、花いっぱい運動に積極的に取り組んでいると聞き、登別駅通り商店街振興会会長の川瀬さんに取材を申し込みました。

平成2年に登別マリナーパークが開かれるのと同時に、観光客に喜んでもらえるように登別駅前を中心に街を花でいっぱいにしよう、という活動が続いています。

登別駅前通りの各商店の前に、リピングポットガーデンウォールという立体的なポットを置き、インパチェンスという花を植え付け、通りを飾っています。

このポットは立体になっているため乾燥しやすく、保水力を保た

せるために、水やりに苦労しているそうです。

また、心ない人がフラワーポットを灰皿かわりにしたり、ごみを入れたりすることも多いそうです。「特にパチンコ屋さんの前は、腹いせのせいかいたずらが多いんですよ」と、川瀬さんは苦笑いをしてながら話してくださいました。

また、毎年登別地区の各団体が協力し一致団結して、街中を花のパレットにしようと、花いっぱいのお祭り「フラワーパレットのほりべつ」が行われています。今年も7月20・21日に行われました。

このお祭りの中で、私がおもしろいと思った企画は、「花の里親運動」で、花いっぱい運動を広めるために、お客さんに花の苗をプランターに植えてもらい、その方に花の里親として提供して育てて



▲たくさんの市民でにぎわった「フラワーパレットのほりべつ」

もらうというものです。

川瀬さんのお話から、お祭りなどを通じて、花いっぱい運動が地域に根付いていることが伝わってきました。

このような地域の活動が少しずつ広がり、登別市全体が花でいっぱいになるといいなと思いました。

《花いっぱい運動》



今回、初めて市民リポーターとして、「花いっぱい運動」に携わっている多くの方々に貴重な時間をさいていただき、取材させていただきました。本当にありがとうございました。

活動方法はそれぞれに違いますが、その気持ちは一つで、「登別市を花で飾り、ごみのないきれいな街にしたい」ということでした。

日々の生活に追われるのではなく、自らゆとりある生活をするために、身近なことから始めてみるのはいかがでしょう。

例えば、家の周りのごみ拾いをしたり、庭やプランターなどに花や木を植えたり、部屋の中に好き

な花を飾ったり…

ほんの少しの努力で、ずいぶん生活が変わりますね。忙しいからこそ「ゆとり」が大切なのだと思います。

私はハーブや花に水をあげながら「大きくなったね」とか「きれいだね」と話しかけることがあります。

自分自身、いつまでもそんな気持ち忘れずにいようと思います。市民のみなさん一人ひとりが「ゆとり」を持つことで、きっと花いっぱいのできる登別市になれると信じています。

◆ ◆ ◆
注1 ハーブ(香草)に関する専門的な知識を持った人に与えられる資格。

注2 芳香療法。香りをかかせることで心理的效果を目的とした治療を行う。香りの種類により集中力アップや眠気さまし、ストレス解消などの効果がある。

注3 花を生かしたまちづくりを地域で進めるため、指導・助言を行う人。平成5年度から北海道住宅都市部まちづくり推進室が認定。

「存じですか?」

市の木 プラタナス
市の花木 ツツジ
市の花 キク

地域の国際化に向けて

登別市の国際交流

デンマークへ行ってきます!!



市は、平成4年から中学生派遣事業を行っています。

この事業は、市内の中学2年生をデンマークへ派遣し、ホームステイや学校での交流を通して、国際性豊かな人間を育てることを目的としています。

今年も、8月16日から10日間の日程で、デンマークのリングゲ市やウイスリングゲ市、オーデンセ市などを訪問し、ホームステイによる生活体験や姉妹校との交流などを予定しています。

出発を目前に控え、期待にあふれる7名に、デンマーク派遣の抱負を作文にしてもらいました。



幌別中学校
阿部 直生さん

僕は、今年の登別市中学生海外派遣団の一人に選ばれ、とてもうれしいです。この気持ちを使命感にかえて、デンマークをどんなに観察し、いろいろな人と交流を深めてきたいと思います。



幌別中学校
石垣 沙織さん

行けることになり、とてもうれしく思います。デンマークでは、日本の文化や登別のよさを伝え、デンマークの文化や歴史、習慣などを多く学ぶとともに、積極的に友だちをつくり、交流の輪を広げたいと思います。



緑陽中学校
佐々木 健さん

僕は、今回の海外派遣でデンマークへ行く事になりましたが、デンマークへ行ったら、日本との違いをたくさん見つけたり、人との交流を深めていきたいと思っています。



西陵中学校
渋谷 雅美さん

私にとって言葉が通じないという事は、大きな壁です。私の気持ちが入手に伝わらないとき、相手の気持ちをわかってあげられないときもあるでしょうが、デンマークでの生活では、飾らない私でありたいと思います。



緑陽中学校
樋口 諭子さん

私は、デンマークの生活や文化、言葉の違いを肌で感じてきたいです。そして今まで習ったとおり社会福祉が充実しているかどうかこの目で確かめてきたいです。また、たくさんの人と交流し、失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦してみたいです。



幌別中学校
吉川 香苗さん

私は、この海外派遣で、実際に外国の文化や生活にふれ、役立てるとともに、この派遣によって外国との交流がより深まったらいな、と思っています。少し不安もありますが頑張ります。



登別中学校
米澤 一真さん

私は、この研修でデンマークの人たちと過ごすことにより、生活の仕方の違いや文化の違いなどのことをできるだけ多く学び、これからの生活に役立てられるよう研修にしたいと思っています。

デンマークってどんなところ？

デンマーク王国は、北ヨーロッパに位置し、面積は日本の約8分の1（九州よりやや大きい）で、人口は520万人余り。首都はコペンハーゲンです。

登別マリナーパークニクスのニクス城が、ウイスリングゲ市にあるアイスコー城をモデルにして作られたことから交流が始まりました。

シアカとルイスです！

登別のみなさん、よろしく！
のほりべつ国際交流会は、平成6年からデンマーク研修生の受け入れ事業を行っています。今年も7月5日、デンマークから研修生としてシアカ・ラーソンさん（21歳）とルイス・シュミットさん（21歳）がやってきました。

2人は、10月2日までの3か月間、市内でホームステイをしながら、英語指導や日本文化の体験、デンマーク文化の紹介など市民との交流を深めています。
シアカ・ラーソンさん

「みなさん親切で、毎日楽しんでます。
今はまだ「旅行者」のような感じですが、早く慣れて「登別人」になりたいですね」

ルイス・シュミットさん

「自然が好きなので、キャンプやハイキングをしたいと思います。福祉にも興味があるので、いろいろな福祉施設を見学したいと思います」



▶豊水まつりの鬼おどりに参加したシアカさん（右）とルイスさん



きんきらり

登別とデンマーク間の友好をすすめる
市民の会(通称・登別デンマーク協会)

会長 上田 俊朗さん(常盤町)

も優れている国で、公私ともに縁の深い国です」

「登別デンマーク協会会長としての抱負をお聞かせください」

「国際交流に限らず、何事に対しても人と人のつながりは大切だと思います。デンマークとの交流にしても人のつながりを基本として、登別とデンマークが互いに良く理解し合えるようにしていきたいですね」

「協会には誰でも入会できるので

設立されました。その初代会長に就任された上田俊朗さんにお話を聞きました。デンマークとは以前からつながりがあったのですか

「昭和47年に、デンマークの企業と取引をするためにデンマークに行きました。これは私の初めての海外旅行で、デンマークの自然の美しさと人のやさしさが特に印象に残っています。デンマークは農業が盛んですが、工業の技術力

英語は流暢でなくてもいい。気持ちは必ず伝わります。と話す上田さん。これからも登別とデンマークの掛け橋として頑張ってください。

(協会に入会希望の方は山崎建設(株) ☎55551まで連絡ください)



▲登別デンマーク協会設立総会の様子

常盤町の

森下則子さ

んは、個人

ボランティア

アの登録を

きっかけに、

自分の家でも気

軽にできる、おむ

つ用のあて布づくりを

始めました。

このあて布づくりは、特別養護老ホーム緑風園からの要請を受けたボランティアセンターが、森下さんのような個人ボランティアや団体に依頼し、行っています。

登別温泉のホテルや旅館からボランティアセンターに寄贈された古い浴衣やタオルなどをほどこき、ほころびなどを取り除いて30センチ四方にカットし、あて布ができあがります。

活動を始めて半年後、初めて

緑風園を訪れた

森下さんは、職

員からあて布が

1日に700枚も使

われていること

を聞いて本当に

驚き、それまで

は時間のあいて

いるときに作る

程度でしたが、

今ではお友だち

いまいき ボランティア

自宅でもできるボランティア活動

家で気軽にボランティア

「家にも小さなボランティア活動ができるんですね。実際に緑風園を訪れてみて、私たちの活動が役に立っていることがわかりました。

多くのみなさんに協力していただきながら、続けていきたいですね」と、話してくれました。

ボランティアセンター伝言板

ボランティアセンターは、あて布づくりなどを協力してくれる個人ボランティアを募集しています。

このほかに、自宅でもできるボランティア活動には、次のよう

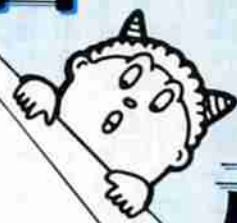
- 使用済み切手の収集
- ロータスクーパーの収集

- 使用済みテレホンカードの収集
- 書き損じハガキの収集

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター

(☎0860)





技の交流に感激!

登別温泉小学校で中国雑技団との交流会



7月6日(土)、登別温泉小学校の児童62名は、中国雑技団との交流を行いました。

この雑技団は、5月から登別中国庭園「天華園」で技を披露し、訪れる人の目を楽しませています。

「すごい」「どうしてあんなことできるの」と、繰り出される技の数々に子どもたちも大感激。みんな真剣なまなざしで見入っていました。

雑技団の演技のあとは、おれにと鬼っ子マーチングバンドが演奏を行い、素晴らしい技の交流会になりました。

羊の名前は 「はっぴいごう」「ハッピーピーチ」 幌別東小学校で羊の命名式

6月29日(土)、幌別東小学校で羊の命名式が行われました。

同校では動物たちとの触れ合いを深めるため、市内のハッピー牧場から羊2頭の提供を受けて育てています。この日、1年生のみんなが考えたオスの名前は「はっぴいごう」、2年生のみんなが考えたメスの名前は「ハッピーピーチ」。

子どもたちはさっそく、羊たちの体を拭いたり、青草を与えたり、楽しそうに世話をしていました。

羊たちは、子どもたちと10月まで仲良く学校生活を続けたあと、牧場に帰ります。



犯罪のない住みよい街に! 第46回社会を明るくする運動 街頭パレード

毎年7月1日から1カ月間、全国一斉に行われる「社会を明るくする運動」の登別地区街頭パレードが7月2日(火)に行われました。

JR登別駅周辺を道警カラーガード隊を先頭に、登別小学校・登別中学校ほか38団体、約1千人が参加したパレードは、沿道を埋めた多くの市民に、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解と協力を呼び掛けました。

東 奔



提灯まつりから 豊水まつりへ

水に恵まれているマチにふさわしい市民まつりをと、「のほりべつ提灯まつり」が、今年から「のほりべつ豊水まつり」に生まれ変わりました。

その第1回目が7月20日(土)・21日(日)にJ.R.幌別駅西口広場とアーニス前を会場に行われました。

西口広場のステージでは熊舞やよさこいソーランなどが披露され、アーニス前では、子どもたちが水鉄砲などで楽しみました。

20日夜には鬼おどり大群舞が行われ、北海道衛太鼓の音が響き渡るなか、多くの市民が踊り、まつりを盛りあげました。



織り姫とひこ星は会えたかな〜第9回鷺別七夕まつり〜

7月6日(土)・7日(日)、第9回鷺別七夕まつりが、新和デパート前を会場に行われました。鷺別七夕まつりは、鷺別商店街やPTAが実行委員会を作り、子どもたちに夢を与え、楽しい思い出を作ってほしいと、毎年行われています。

今年も会場の一面に、「宇宙を探検したい」「幼稚園の先生になりたい」など、子どもたちの夢が書かれた600余りの短冊が飾られ、さらさらと星のように輝いていました。

仲間たち

登別ユーモア芝オケ・フェニックス

座長 千葉アサヨさん
TEL 596699

人との出会いを大切にして15年



はすべて廃品などを利用した手作りだそうです。

結成当時のメンバーの一人である南さんは、「お客さんに「楽しかったよ、また来てね」と言ってもらうのが一番うれしい。涙を流して帰るまで握った手を離さない人もいて、そんなときは本当にやってくれた、また頑張ろうと思いますよ」と、話してくれました。

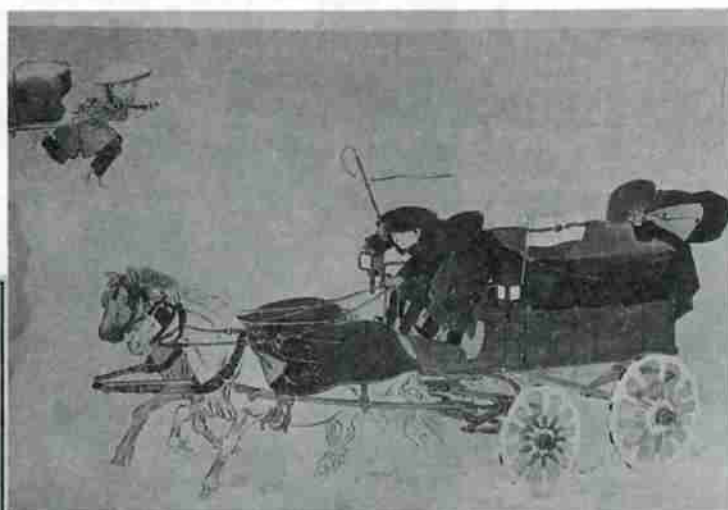
また座長の千葉さんは、「強いボランティアの心を持った人々にめぐりあえて、芝オケをしていくに本当によかった。みなさんの力を借りて、体が続く限り慰問活動を続けていきたい。芝オケはわたしの生きがいです」と、話してくれました。

登別ユーモア芝オケ・フェニックスは、花見の宴で知り合った方々が集まり、ボランティアで老人福祉施設などへの芸能慰問活動を、15年間続けています。メンバーは、七福神にあやかり結成時から7名で、現在は40歳代から70歳代の男性2名、女性5名で活動しています。年に5〜6回、緑風園やグリーンコート三愛など、市内外の福祉施設へ慰問に訪れ、歌や踊り、お芝居などを披露します。ユーモアいっぱいには繰り広げられるステージは、お年寄りなどに大好評で、会場はいつも笑いに包まれています。お金をかけないボランティア活動をしようと、衣装や小道具

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

「郵便前夜」(2)

注意！
初めての「切手」にニセモノあり



▲吹雪の中を駆ける郵便物運送馬車と集配車(左上)〈明治中期〉

登別市内で、郵便局の前身の幌別郵便取扱所が設定されたのは明治5年(1872年)のことである。

この年に、北海道の中心的郵便役所が函館の開拓使海關所内にて、付随して室蘭・幌別や札幌・

「飛脚屋」から出された注意書に「飛信(至急) 通送切手か、本物か偽物かよく確かめろ」と書いている。

一方、飛脚屋は仕事を脅かされ、結束して料金を半額以下にして對抗したが、結局「小包と郵便為替」の通送権を政府から与えられ、他は一切禁止されて貨物の輸送機関となり、合同して「陸運元会社」を創設、今日の日本通運・①の前身となった。

さて、幌別郵便取扱所の入口にかけられた郵便箱は、一般的に長さ60センチ・幅30センチくらいで、投函された書状は、室蘭港(現室蘭駅の方)、本室蘭(崎守町)、白老に分けて通送するが、「郵便」という言葉も意味が分からずピンとこない。

東京で「郵便」と書いた箱(ポスト)を町の辻に置いたときに、文字を読める気どった紳士が、腕組みをしながら真剣に考え「郵便」を「垂れ便」と読んで、便所と間違えたらしい。それにしても差し入れ口は高いし「珍しい便所だな、西洋人にむくかも知れないが、日本人に合わない」と首をひねりながら一人言を言って立ち去った。という笑い話が残っている。

また、郵便箱にいくら経っても手紙を入れる人がいないので、この状況をみた外国人が、暇なことを「日本の郵便箱」と言って例えたというが、明治を迎えた文明開化の郵便制度一つにしても普及す

るまでは大変であった。

都会でもこのような状況なのに、郵便取扱所の開設した幌別郡の人口は、明治13年頃まで約500人余で、札幌本道沿いの民家は別として深い森の中に入植者は散在し、道路も満足になく何処で生活しているのか分からない。入植者の生活も安定していないので住民の集配物も無に等しいものであった。

しかし、北海道開拓を急ぐ政府や開拓使の御用状・公文書は、札幌・函館・東京へと頻繁で、幌別郵便取扱所から前記の室蘭・白老の取扱所へ昼夜の別なく直ぐに届けねばならない。

室蘭港まで19・7段、本室蘭まで15・7段、白老まで26・8段。明治5年に通った札幌本道の両側は、昼でも暗い林が続き、水量豊富な幌別川の橋も既に流失して川を渡るのも困難であった。ヒゲマヤオオカミや集団を組んだ山犬(野犬)が出没する。冬期間の積雪や吹雪で道は消滅する。昼夜や豪雪雨に関わらず御上の御用は厳しい。

途中も危険なので、荷物が多く急ぐ場合は、人数を増やしたり駄馬送りをしたりしたが、初めは馬送りの料金を開拓使は認めない。内容はよくわからないが、幌別郵便取扱役の松谷金弥の「通送仕上げ表」は赤字になっているので、上納金の減免と手当の増額などを、開拓使に嘆願している。

ふるさと
登録

▶飛信切手とは至急用の切手で「本物か偽物か確かめろ」と書いている



明治初

あちかると

情

登別市廃棄物減量等推進審議会委員を公募します

市は、清掃行政の施策に広く市民の意見を反映させるため、登別市廃棄物減量等推進審議会委員を公募します。

▼応募資格 市民で満20歳以上の方(公務員を除く)、ただし次の①～③に該当する方は応募できません。

- ① 禁治産者及び準禁治産者
- ② 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終えるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの方
- ③ 選挙権及び被選挙権を停止されている方

▼募集人員 2名

▼申し込み 市に備え付けの「審議会等委員申込書」に必要事項を記入のうえ、廃棄物の減量やリサイクルなどについての意見、考え方や感じていることを800字程度のレポートにまとめて8月30日(金)までに環境衛生課へ提出してください。

▼問い合わせ 環境衛生課
(幸町2-4 ☎2958)

青年・婦人の

国内派遣研修者募集

市教育委員会は、青年と婦人活動のリーダー養成を目的に3市(登別、室蘭、伊達)合同の国内派遣研修参加者を募集します。※どちらの研修も、研修終了後にレポートを提出していただきます。

▼申し込み・問い合わせ 8月30日(金)までに社会教育課
(☎1100)

	青年(男・女)国内派遣研修	婦人リーダー国内派遣研修
研修期間	11月1日(金)～11月4日(月)	11月5日(火)～11月9日(土)
募集人員	5名	4名
研修先	鳥取県米子市、鳥取県出雲市、松江市ほか	埼玉県嵐山町、東京都内
事前研修	10月19日(土)～20日(日) 田ひろらん高原「サンパワ-380」	9月27日(金)10時30分～13時 登別市民会館
事後研修	11月下旬	11月下旬
資格	事前事後研修に参加できるおおよそ18歳から30歳までの男女で、現在青年団体活動をしている方、または今後青年団体活動に参加しようとする方(学生は除きます)	55歳未満の女性、「婦人の地域活動について」をテーマにレポート(400字詰め原稿用紙2枚)を提出していただきます
選考方法	市教育委員会にある参加申込書を提出し、面接を行い決定します	市教育委員会にある参加申込書を提出し、面接を行い決定します
参加者負担金	3万円	3万円

平和を祈って黙とうを

原爆の日、終戦記念日

8月6日広島市、8月9日長崎市の原爆の日、また8月15日の終戦記念日を迎え、原爆死没者や戦争犠牲者を追悼し、世界恒久平和の確立を祈念するため、1分間のサイレン吹鳴を行います。

市民のみならずにはサイレンと同時に、1分間の黙とうをささげられますようお願いいたします。

- ▼日時
- ◎8月6日(火) 広島市原爆の日 8時15分から1分間
- ◎8月9日(金) 長崎市原爆の日 11時2分から1分間
- ◎8月15日(木) 全国戦没者追悼式 12時から1分間

美園配水池(美園町6丁目47番地)が完成しました

水道部

今まで、水圧や水量不足、水質管理などで、年に数回の断水があったためご迷惑をおかけしていた「美園町6丁目」のみならず、安定した給水が可能になりました。昨年からの工事を開始した美園配水池は、今年の7月10日に通水を開始し、7月15日には記念通水式を行いました。

高台に設置されたこの配水池は、高水圧で給水することができ、本体は清掃時に給水を停止しなくてもよいドーナツ型二重構造をしています。

また、万が一事故が発生しても、配水池内の水で給水地区の半日分以上まかなうことができます。

▼問い合わせ 工務課
(☎5510)



登別市文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

シニアスポーツ教室

▼月日 8月24日(土)～10月5日(土)の毎週土曜日(9月7日(土)を除く計6回)

▼時間 13時30分～15時30分

▼場所 総合体育館

▼対象 市内に居住・通勤する40歳以上の方

▼受講料 傷害保険料400円

▼内容 ラケットテニス、グラウンドゴルフ

▼持参するもの 運動靴、運動のしやすい服装

初心者バドミントン教室

▼月日 8月28日(水)～10月5日(土)の毎週水・土曜日(9月7日(土)

9月14日(土)を除く計10回)

▼時間 18時30分～20時30分

▼場所 総合体育館

▼対象 市内に居住・通勤する成人で初心者

▼募集人員 40名(申込順)

▼受講料 傷害保険料400円

▼持参するもの ラケット、運動靴、運動のしやすい服装

▼両教室の申し込み 8月18日(日)まで電話で総合体育館
(☎5552)

8月11日(日)に

臨時サイレンが鳴ります

8月11日(日)は、登別市長選挙と市議会議員補欠選挙の投票日です。投票開始のお知らせと、投票の呼び掛けのため、臨時サイレンを消防署と支署で吹鳴します。

◎午前7時～長声30秒を1回

◎午後5時～長声30秒を1回

親善少年軟式野球大会を

開催します

登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業の一環として、みなさんの温かい応援をお待ちしています。

▼日時 8月7日(水) 9時45分～

※開会式は川上公園野球場で9時から行います。

▼場所 川上公園野球場、若草公園グラウンド

▼問い合わせ 登別・白石姉妹都市交流推進協議会事務局(登別商工会議所内 ☎4111)

こ れ な あ に ？



ダルマストーブ (このダルマストーブは、旧国鉄胆振線で活躍していました)

僕はダルマストーブ。体がダルマさんに似ているから、ダルマストーブってみんなから呼ばれていたんだ。僕は、伊達紋別駅から倶知安駅まで走っていたS1機関車の客室に住んでいたんだ。なんでストーブが機関車に住んでいたのかだって？

今じゃ僕たちの代わりにヒーターとかスチームが電車の中を暖めているけど、40〜50年前は僕たちが客室を暖めていたからなんだ。

僕は体の中で石炭を燃やしてみんなを暖めるんだ。僕の体には丸と長方形の空気取り入れ口が付いていて、いつばい空気を吸っている時は、体を真っ赤にして客室を暖めていたんだよ。

人のうごき	
●人口	57,248(-34)
●世帯	22,848(+3)
	()は前月比
平成8年6月末日現在	

となりまち
ホットライン

室蘭市



「日本の渚・百選」に選ばれたイタンキ浜に遊びにきませんか(96イタンキサマーフェス)

7月20日の「海の日」を記念し、景観や自然環境が保たれた全国の美しい渚を選ぶ「日本の渚・百選」にイタンキ浜が選ばれました。今月3・4日には同浜で96イタンキサマーフェスティバルが開催されます。美しい渚を鑑賞しながら色々なイベントを楽しんでみませんか。

▼日時 8月3日(出)、4日(回) 10時～

▼会場 イタンキ浜

▼内容 海のイベント、陸のイベント、砂浜のイベントなど(当日参加のイベントもあります)

▼問い合わせ 室蘭観光協会 ☎011-02

伊達市



「伊達市 勇壮華麗な時代絵巻」開催

武士による開拓の歴史と伝統を今に伝える「伊達武者まつり」。今年も8月3日(出)と4日(回)の2日間開催します。まつりの夜を華やかに彩る「伊達武者山車」や騎馬武者をはじめ総勢4百人の鎧武者が繰り出す勇壮な「伊達騎馬総陣立」をお楽しみください。

▼主な内容 ○伊達武者山車：8月3日(出)午後6時30分から、JR伊達紋別駅横を出発し、市内を練り歩きます。○伊達騎馬総陣立：8月4日(回)、出陣の儀は伊達小学校グラウンドで午後4時から。市内凱旋パレードは午後4時30分から

▼駐車場 だて歴史の杜(国道37号沿い)か市役所の駐車場をご利用ください

▼問い合わせ 市商工観光課 ☎011-422-3331

この広報紙は再生紙を使用しています。